

# 臼井・千代田地区の概要

## 臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を河川に囲まれている。地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には区画整理地の中に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集まった地区が形成され、臼井地区の新しい核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、臼井ふるさとにぎわい祭や佐倉チューリップまつりなどのイベントが開かれる他、計画的なまちづくりが進んでいる。

## 千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した5地区から成っている。大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され小中学校があいついで開校するなど、公共施設も充実してきた。21世紀初頭には、人口約1万人の新しいまちが完成する計画であった。地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティー活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

# 管理・運営の部

## 1. 公民館運営計画

---

### 運営方針

白井公民館は、常に地域の実態や市民生活の急速な変容にともなう学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざす市民の連帯意識を高める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成し、よって、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設として、その役割を果たすことに務める。

### 努力目標

より多くの市民に親しまれ、活用される公民館として、その学習環境づくりに務める。

市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に務める。

学級・講座の精選と学習内容の充実に務める。

複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮するための研修、調査を進める。

### 事業内容

#### 1. 学級・講座の開設

地域の特性を考慮しながら市民生活に身近な課題をとりあげて、継続的・体系的に学習していく。

また、与えるだけの学習ではなく、参加者が自らつくり出す学習をめざし、内容を充実させていく。

#### 2. 団体育成事業

各種の団体が自主的・継続的に充実した活動が進められるように、情報資料の提供や適切な助言、各機関との連絡調整を行う。

#### 3. 広報・展示事業

学級・講座のお知らせや、グループ活動の紹介、その他さまざまな情報を提供し、公民館への認識と理解を深める。

市民の学習活動の発表展示の場として、広く市民に展示室を提供する。また、郷土の自然・生活・文化・芸術その他市民生活に関することなど幅広い分野からテーマを設定して展示会を催す。

#### 4. 図書事業

市立図書館の分館的機能を持ちながら、複合館としての特殊性と地域性を考慮しつつ運営していく。

音楽関係図書の充実と一般図書・児童図書の蔵書数の増加をめざし、利用増大をはかる。

#### 5. 施設・設備提供事業

開館日・貸出時間 第1・3・5月・火・木・日曜日及び祝日 9:00～17:00

水・金・土曜日 9:00～21:00（夜間の利用のない場合は17:00まで）

（ただし、図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9:00～17:00に業務を行う）

使用の受付は原則として、2カ月前の月初めに設定した利用抽選日から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の使用は使用日の前々月末日から受け付ける。

休館日 第2・4月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）、施設保守点検日

その他 ・使用料については市民音楽ホールを有料で使用する団体には有料で、減免又は無料で使用する場合には無料で提供する。

・利用抽選会は2ヶ月前の月初に実施し、予約を入れていく。これは各団体が一堂に集まる機会でもあるので、団体交流と公民館活動への認識を深める場としても有効に利用する。

## 2 . 公民館利用状況

---

### 年度別利用状況

年度 区分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
利用件数	2,526	2,561	2,549	2,516	2,674
利用人数	45,323	47,920	44,428	46,555	48,860
開館日数	333	333	333	334	333

# 十 事 業 の 部 十

## 事業一覧

領 域	事業名	対象・参加実数	期間・回数	内 容
家	おはなし会	小学生～成人 247人	月1回 土曜日 12回	すばなしと絵本の読み聞かせによる子どもたち向けのおはなし会で、本の世界に親しみました。
庭	絵本とわらべうたの会	2・3歳児と親 春～冬4期 15組 375人	4月～2月 春・夏・秋・ 冬、各3回 計12回	季節感ある楽しいわらべうた遊びと絵本の読み聞かせで、昔からの伝承と温もりある親子関係を育みました。
教	親子ふれあい遊び会	2・3歳児と親 15組 185人	5月～3月 火曜日 5回	子育て支援の事業として、親子や友達と楽しく学びながら、繋がりを深めました。 協力：母親有志、保育士経験者
育	手作り楽器教室	小学校 5・6年生 36人	7月 3日間	「ストリートオルガンの笛を作ろう」をテーマに、ストリートオルガンのパイプと同じ構造の笛作りにチャレンジしました。（市民音楽ホール共同事業）
青 少 年 教 育	水辺の観察会	小学校 4～6年生 13人	7月 1回	環境意識を深める講義とあわせ、谷津田上流から印旛沼までの野外観察で、水をめぐる佐倉の自然を楽しく学びました。（共催：環境政策課）
成 人	佐倉学入門講座 「臼井城は見た！ ～戦国時代の幕開けと激動の世紀を～」	一般 103人	11月 ～12月 3回	地域の特色を活かした入門講座。中世の臼井の歴史を探る上で欠かせない臼井城について、講義により学びました。
教 育	佐倉学入門講座 「武蔵千葉氏ゆかりの史跡探訪」	一般 17人	1月 ～3月 2回	臼井城の攻防でかかわりの深い武蔵千葉氏ゆかりの史跡を、東京都内に探訪しました。

成人教育	佐倉学専門講座 「印旛沼の自然」	一般 118人	9月 ～11月 5回	佐倉市の特色を活かした専門講座。佐倉の象徴として「印旛沼」をはじめとした身近な自然について学び、体験することで、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識しました。（中央公民館共同事業）
	ちょっといいところ みて歩き	中学校～成人 92人	4月～12月 5回	見学学習により佐倉の歴史・文化を知ると共に、自然と環境の変化も考えます。今年は「臼井城跡の春」と「水が刻む風景」をテーマとして、北、西印旛沼の湖岸および布鎌を歩き、自然、変貌する景観や歴史を学びました。
	舞台のお仕事体験 隊	小学校4年生～ 成人 34人	11月～3月 1回 市民音楽ホール	市民音楽ホールでの普段は見ることができない裏周りを見学し、演奏会がどういう流れで出来上がっていくのかを体験しました。（市民音楽ホール共同事業）
	映像でたどる臼 井・千代田	中学校～成人 38人	8月 1回	臼井、千代田地区の自然や地区の成り立ちについて、映像資料を上映し学びました。
広報 展示	臼井公民館だより 発行	一般 1,000部	3月 1回	第17号を発行し、公民館に関する情報を提供しました。
	展示室の貸出し	一般	通年	広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供しました。貸出期間は1団体最大連続6日間。
図書	図書の貸出し	一般	通年	市立図書館と連携し、図書の貸出し・返却受付、相談などを行いました。
団体 育成	臼井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟単位子ども 会 15団体	通年	単位子ども会の円滑な運営を図るための相談・研修・情報交換や自主事業を実施しました。

# 1 . 家庭教育事業

## おはなし会

開設趣旨 子どもにおはなしをすることで、物語（ストーリー）に親しませ、子どもと本をむすびつける。すばなしの他にパネルシアター・絵本の読み聞かせやテーブル人形劇などを組み合わせ、年齢の低い子どもたちにも「物語の世界」を楽しめるようにする。

対象・人数 小学校低学年～成人・計247人

開催期間 毎月第2土曜日12回 14時～14時40分

内容 佐倉おはなしの会会員によるすばなし・読み聞かせ・パネルシアターなど

会場 臼井公民館（学習室）

協力者 佐倉おはなしの会

### 学習プログラム

月 日	すばなし	読み聞かせ	
4 / 12	きんのひきうす ソメコとオニ	てじな	ラチとライオン(人形も使ったすばなし)
5 / 10	死神とおばあさん おんちょろちょろ	ベンチがひとつ	しょうがばんぼうや(パネルシアター)
6 / 14	キツネどんとウサギどん しりなりべら 火を取りに行った娘	へんしんマラソン	
7 / 12	ライオンのめがね ギアッコとまめ 天人女房		こころのやさしいかいじゅうくん(紙芝居)
8 / 9	ばあさんねこ じいさまとおばけ おばけの木 ゆうかなくつなおし		
9 / 6	さんびきのやぎ すずめのこ シマリス おばけちゃん ブクッティーンとおに		
10 / 11	宝てぬぐい あたまにかきのき おにのくれた宝物		
11 / 12	おちば セーター かっぱのおたから 笛を吹くおおかみ	コッケモーモー	

12 / 13	えっちゃんのうばぐるま 金色とさかのおんどり みっけどり	ゆめのゆき	
1 / 10	おいしいおかゆ 少年とこだぬき	ねずみにわとりねこいた ち	てぶくろ(テーブル人形劇)
2 / 14	雪むすめ 5つぶのえんどう豆	すてきな3にんぐみ	だれのおうちかな(パネルシアター)
3 / 14	タンポポのたび マーシャとくま	さるじぞう	うまかたやまんば(テーブル人形劇)

講座を終えて

毎月楽しみにしている子どもたちや安心して親と参加する子どもも見られ、おはなし会後に紹介した本もよく借りられており、参加人数が増加に転じている。

### 絵本とわらべうたの会

**開設趣旨** 親子一緒に参加する絵本の読み聞かせとわらべうた遊びを通して、良好な親子関係を醸成する。

**対象・人数** 2・3歳児と親、15組・のべ375人

**開催期間** 春 4月22日 / 5月13日 / 5月27日(火曜日) 10時～11時  
夏 6月17日 / 7月1日 / 15日(火曜日) 10時～11時  
秋 10月7日 / 21日 / 11月4日(火曜日) 10時～11時  
冬 2月3日 / 17日 / 3月3日(火曜日) 10時～11時

**内容** 幼児向け絵本の読み聞かせ(3冊程度)と親子でスキンシップできる季節に合わせたわらべうた遊びを組み合わせで行う。

**会場** 臼井公民館(集会室)

**指導者** グループのはな(林 紅仁子、高島祐子、藤原道子)

講座を終えて

平成16年度から実施し5年目を迎えた講座であり、わらべうたを親子で覚え歌う楽しさは着実に伝わっている。絵本との出会いのきっかけにもなっており、保護者間のコミュニケーションも芽生えつつあるので、2・3歳児時期の通過点という保護者の参加意識から一歩踏み込んだ講座づくりを目指したい。

### 親子ふれあい遊び会

**開設趣旨** 親と子がさまざまな遊びを通して、きずなを深める。指導には保育士経験者および子育て中の母親が加わり、子育て支援事業の一環として実施する。将来的にはグループ・サークルを形成し、自主的に活動することができるように育成支援する。

**対象・人数** 2・3歳児と親、15組・のべ185人

**開催期間** 5月～3月、毎月1回 10時30分～11時30分

内 容 母親が子育ての中で、体験を通して見つけた楽しい遊びや行事を取り入れた活動を行う。遊び方を共有し広めることで、円滑な親子・友だち関係を形成する。

会 場 白井公民館（集会室）

協 力 母親有志、保育士経験者

#### 学習プログラム

回数	日 時	内 容	指 導 者
1	5月20日(火) 10:30～11:30	ハンカチ・タオルであそぼう	「絵本とわらべうたの会」 参加の母親有志
2	6月24日(火) 10:30～11:30	七夕飾りを作ろう	母親有志、保育士経験者
3	7月29日(火) 10:30～11:30	小麦粉粘土であそぼう	母親有志、保育士経験者 白井中職場体験生徒
4	9月30日(火) 10:30～11:30	絵本よみきかせ・手遊び・パネルシアター	母親有志、保育士経験者
5	12月23日(火) 10:30～11:30	クリスマスみつろうロウソクとスタンドづくり	奥津友子、奥津輝久（アトリエ・そうわーくす） 母親有志、保育士経験者

#### 講座を終えて

バスタオルのゆりかごや、七夕飾り、小麦粉粘土など身近な素材で親子あそびを楽しんだ。また木の実など自然の中にあるものと蜜ろうを組み合わせたクリスマスキャンドルなど、もの作りを親子で楽しみ触れ合い深めることができたが、協力者に出産が続くなど講座運営を円滑に進めることが難しくなっており、協力者の育成支援のしかたが課題となった。



## 2. 青少年教育事業

### 手作り楽器教室

「ストリートオルガンの笛を作ろう」

**開設趣旨** 子どもたちに自らの手でものを作り出す楽しさと音を奏でる喜びを体験する機会を提供し、考え文化創造できる「佐倉っ子」を育む。

**対象・人数** 小学校5・6年生 17人

**開催期間** 7月22・23・24日(3日間) 13:30~15:30

**内容** ストリートオルガンが音を出すための、主要な部分である笛を模して製作する。豊かな音色で鳴らすために加工しながら工具の使い方も習得し、その構造を学ぶ。(市民音楽ホール共催事業)

**会場** 臼井公民館(創作室)

### 学習プログラム

回数	日時	学習内容	指導者
1	7月22日(火) 13:30~15:30	音の科学・ストリートオルガンの仕組み いろいろな楽器の音程を調べる	岩崎 知郎 (音楽家・古楽器製作者)
2	23日(水) 13:30~15:30	ストリートオルガンの笛製作	岩崎 知郎 (音楽家・古楽器製作者)
3	24日(木) 13:30~15:30	ストリートオルガンの笛製作と音程調整 (本物のストリートオルガンを観察、作った笛と比較する)	岩崎 知郎 (音楽家・古楽器製作者)

### 講座を終えて

手作り楽器教室では笛を製作した。パイプの大小や長さによって音程が異なり、はじめ工作に不慣れな子どもたちの四苦八苦する様子が見られた。馴れるにしたがいそれぞれ大中小3本の笛を完成させることができた。

また、ストリートオルガンを実際に観察し、3日かけて作ったパーツがその一部として使われていることを理解し、音楽ホール複合施設ならではの事業になった。

### 水辺の自然観察会

**開設趣旨** 子どもたちに佐倉の谷津の自然を身近に感じ、印旛沼の水循環などの理解を深め大切さを学んでもらいたい。

**対象・人数** 小学校4・5・6年生 13人

**開催期間** 7月30日(木) 10:00~16:30

**内容** 室内講義と野外観察を通じ、身近な自然と環境について楽しく学ぶ。(共催：環境政策課)

**会場** 臼井公民館(集会室)及び野外(直弥沢の谷津と川・畦田沢・上手繰川植生浄化施設・竜神橋鹿島川河口からの印旛沼)

講 師 新島 偉行（元県立国分高等学校教諭）

岩井久美子（財団法人千葉県環境財団）ほか

学習プログラム 午前：講義「谷津の自然」（スライドを使い谷津と沼の生物の現況を学習）

「水の流れ」（スライドを使い、湧水から印旛沼に注ぐまでを学習）

午後：野外観察

昼食後、バスで谷津上流、中流、下流部を巡り、さまざまな動植物を採取・観察した。

講座を終えて

環境政策課と共催で実施する4年目の事業。子どもたちは午前中の講義で、沼から消えた生き物に興味を持った。昼食後、バスでフィールドワークへ向かった。上流・中流・下流を巡り、それぞれに生息する動植物を捕え観察する機会を持った。直弥沢に注ぐ湧水ではホトケドジョウ、サワガニ、カワニナ、オニヤンマのヤゴ、直弥沢の水路ではスナヤツメ、シマドジョウ、タモロコ、アメリカザリガニ、カワニナ、ヒメゲンゴロウ、スジエビ、ヤゴ、メダカ、畔田沢水路ではトウキョウダルマガエル、ヨシノボリ、ドジョウ、スジエビ、ハグロトンボ、シオカラトンボ、上手繰川植生浄化施設ではスジエビ、ヨシノボリ、ヌマチチブ、ドジョウ、ハグロトンボの生息を確認できた。

また直弥沢に注ぐ湧水・直弥沢の水路・畔田沢水路・上手繰川植生浄化施設・鹿島川河口の水を採取し水質キットを用いて、水の変化を実感した。

## 3 . 成人教育事業

### 佐倉学入門講座

「白井城は見た！～戦国時代の幕開けと激動の世紀を～」

開設趣旨 地域の特色を活かした佐倉学入門講座である。中世の白井の歴史を語る上で欠かせない白井城について、講義により学ぶ。

対象・人数 一般・40人

開催期間 平成20年11月15日～12月20日(土) 全3回

学習目標 佐倉の歴史を学ぶ力を養う。

会場 白井公民館(創作室)

#### 学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	指 導 者
1	11月15日(土) 14:00～16:00	講義	武蔵国と千葉氏 鎌倉時代 を中心として	湯浅 治久 (市川市立歴史博物館)
2	11月30日(土) 14:00～16:00	講義	戦国末期の白井城と原氏	外山 信司 (県立浦安南高等学校)
3	12月20日(土) 14:00～16:00	講義	発掘調査からみた白井城と その周辺	日暮 冬樹 (市教育委員会文化課)

講座を終えて

第1回目は武蔵千葉氏について学習し、戦国時代の始まりと白井城とのかかわりについて理解を深めた。第2回目は文献史学の視点から戦国時代末期の白井城と原氏について学習した。第3回目は、これまでの発掘調査の成果から白井城の構造について学習した。受講生からは満足という感想が多く寄せられ、白井氏について学習したい、白井城跡から出土した遺物を定期的に市民に公開してほしいとの要望もあった。

### 佐倉学入門講座

「武蔵千葉氏ゆかりの史跡探訪」

開設趣旨 白井城の攻防でかかわりの深い武蔵千葉氏ゆかりの史跡を、東京都内に探訪する。

対象・人数 一般・17人

開催期間 平成21年1月17日(土)～3月27日(金) 全2回

学習目標 佐倉の歴史を学ぶ力を養う。

会場 現地

#### 学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	指 導 者
1	1月17日(土) 9:00～15:30	散策	武蔵千葉氏ゆかりの史跡探訪	高橋 健一 (白井公民館職員)
2	3月27日(金) 9:00～16:00	散策	武蔵千葉氏ゆかりの史跡探訪	同上

講座を終えて

享徳3年(1454)12月27日、鎌倉公方足利成氏は対立していた関東管領上杉憲忠を誅殺した。このことに端を発し、幕府足利氏方、山内・扇谷両上杉氏方の勢力と、鎌倉公方足利氏方の勢力が争いを繰り広げた。この内乱は関東地方の各地に拡大することになり、関東地方を京都に先駆けて戦国の世にした。これは享徳の乱といわれ、文明14年(1483)11月27日に和睦が成るまで続くことになった。

下総千葉氏の場合は、その重臣であった円城寺氏と原氏の二大勢力が対立した。円城寺氏は、千葉氏宗家の千葉胤直(母は上杉禅秀の娘)を擁立して幕府、山内・扇谷両上杉氏に味方し、原氏は千葉氏庶流の馬加康胤を擁立して鎌倉公方に味方した。康正元年(1455)原胤房・馬加康胤の軍勢は、千葉胤直の拠る千葉城を攻撃した。胤直・胤宣父子らは円城寺氏に護られて香取郡千田庄多胡(多古町)に逃れ、多胡・志摩両城に籠って防戦したが、胤宣は8月12日に、胤直は同月15日に自害して果てた。また、胤直の弟千葉胤賢も9月7日に小堤城で自害した。円城寺氏一族は、胤賢の遺児実胤・自胤兄弟を伴い市川城(市川市)に楯籠った。しかし、ここ市川の合戦でもその一族の多くが戦死している。

この後、実胤・自胤兄弟や円城寺氏らは、扇谷上杉氏の家宰太田道灌を頼り、下総国より武蔵国に移った。この時、兄実胤は赤塚城を、弟自胤は石浜城を拠点として失地と地位の回復を目指した。ここに武蔵千葉氏が誕生することになる。しかし、回復の望みが容易には叶わないことと長陣の疲弊状態から、実胤は美濃国の千葉氏一族東常縁を頼って隠遁した。

実胤の家督を継承した千葉自胤は、文明10年(1478)12月、下総国内に軍事行動を起こし、鎌倉から下総国古河に移座していた足利成氏(古河公方)方の千葉孝胤に対抗した。下総千葉氏の家督の地位についた馬加康胤・胤持父子が幕府軍に敗れると、原氏は千葉氏庶流の岩橋輔胤をその後継者に据えた。この輔胤の地位を引き継いだのが千葉孝胤である。

当時、孝胤の本拠は本佐倉城ではなく千葉にあり、臼井城を前線の拠点としていたようである。千葉自胤と千葉孝胤の軍勢は境根原(柏市)で衝突し、この合戦で敗退した孝胤は臼井城に逃れた。そこで自胤は攻撃の矛先を臼井城に向け、翌文明11年正月に臼井城への攻撃を開始した。しかし、臼井城を落とすことは容易ではなかった。そこで、下総の海上氏や上総の真里谷武田氏の城を攻略し、その結果、太田道灌の弟資忠らの戦死はあったが自胤は臼井城を攻略することに成功した。ここに臼井城は、こののち孝胤方に奪還されるまで武蔵千葉氏が支配した。

このような歴史的な経過の中に存在した臼井城であるが、従来の公民館講座の中では、外側から臼井の地を眺めるという機会は少なかった。そこで今回、武蔵千葉氏ゆかりの石浜、赤塚を中心に史跡探訪を実施し、あらためて臼井城の存在価値を考えることにした。

第1回目の探訪は京成関屋駅から浅草駅までの散策コースとして、西光寺、鐘ヶ淵、三俣城跡推定地、東白髭公園(中世隅田宿跡)、木母寺、隅田川神社、石浜神社(石浜城跡推定地)、橋場不動尊、総泉寺跡、妙亀塚、東京都人権プラザ、今戸神社、今戸橋・山谷堀公園、待乳山聖天(石浜城跡推定地)を見学学習した。第2回目の探訪は3月14日(土)に実施する予定でいたが、当日は荒天と交通機関の運行不順のため3月27日(金)に延期し、都営三田線西高島平駅から巢鴨駅までの散策コースとして、板橋区立郷土資料館、赤塚城跡、不動の滝、乗蓮寺、松月院、赤塚諏訪神社こぶヶやき、赤塚諏訪神社、志村一里塚、総泉寺、薬師の泉庭園を見学学習した。

## 佐倉学専門講座

### 「印旛沼の自然」

**開設趣旨** 佐倉市の特色を活かした専門講座である。佐倉の象徴とも言える「印旛沼」をはじめとした身近な自然について学び、体験することにより、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を再認識する。(中央公民館共同事業)

**対象・人数** 一般・のべ118人

**開催期間** 平成20年9月21日(日)～11月9日(日) 全5回

**学習目標** 印旛沼の自然について理解を深める。

### 学習プログラム

回数	日時	学習内容	会場	指導者
1	9月21日(日) 13:30～15:30	印旛沼ってどんな沼？ - 印旛沼と人のかかわり	中央公民館	NPO法人水環境研究所
2	9月28日(日) 13:30～15:30	印旛沼周辺の神社と古代氏族	中央公民館	NPO法人水環境研究所
3	10月19日(日) 13:30～15:30	印旛沼の自然史 - 印旛沼と近くの川にすむ魚たち、	中央公民館	NPO法人水環境研究所
4	10月26日(日) 13:30～15:30	印旛沼の自然(水草を中心として)	中央公民館	NPO法人水環境研究所
5	11月9日(日) 9:30～12:00	屋形船乗船と沼の水質検査(パックテスト)	ふるさと広場	NPO法人水環境研究所

### 講座を終えて

印旛沼の歴史、水環境の変遷と現状について、地誌も加わった4回の講義となり、さらに屋形船に乗船し沼に出る5回の講座。印旛沼の現状をよく知る機会となり、沼周辺の住民として再生には何をしてくる必要があるのか、考えさせられるものがあった。

## ちょっといいとこ見て歩き

### 「ちょっといいとこ見て歩き - 春 - 」

#### 「水が刻む風景」

**開設趣旨** 佐倉市内や近隣地域の歴史・文化を知るとともに、自然と環境の変化を考える。

**対象・人数** 一般・のべ92人

**開催期間** 平成20年4月・11月12日～12月3日(水) 全5回

**学習目標** 佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、地域の歴史文化を知るとともに、自然と環境の変化も考えます。今年は、春に公民館付近で1回と、「水が刻む風景」をテーマに、北、西印旛沼の湖岸と布鎌を歩き、水辺の自然と変貌する景観や歴史を学びました。

### 学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	指 導 者
1	5月21日(水) 13:00~16:00	見学学習	ちょっといいとこ見て歩き - 春 - 臼井城跡の自然に 親しみ、付近の植生・臼井 城の歴史を学ぶ(臼井公民 館~臼井城跡)	高橋 三千男(元中央公民館長) 松平 喜美代(千葉県自然観察指 導員)
2	11月12日(水) 9:00~16:00	見学学習	水が刻む風景 北印旛沼を 巡る - 変貌し変貌する景観 - (安食駅~下総松崎)長 門川・酒直水門・吉高機場 ・吉高工区植生帯整備箇所 ・甚兵衛大橋・水神の森・ 成田新高速鉄道架橋工事箇 所・岩屋古墳	松平 喜美代(千葉県自然観察指 導員)
3	11月19日(水) 9:30~16:00	見学学習	水が刻む風景 西印旛沼を 巡る (印旛沼南岸) - 緑 に囲まれた水辺の景観 - (印旛日本医大駅~うすい 駅)印旛村役場・一本松揚 水機場・自噴井戸・師戸城 跡・船戸大橋・防人の歌碑 ・浜田橋	松平 喜美代(同 上)
4	11月26日(水) 9:00~16:00	見学学習	水が刻む風景 西印旛沼を 巡る (印旛沼北岸) - 緑 に囲まれた水辺の景観 - (うすい駅~聖隷佐倉市民 病院)佐倉ふるさと広場・ 飯野水草園・土浮・サンセ ットヒルズ・飯野観音・飯 野竜神橋	松平 喜美代(同 上)
5	12月 3日(水) 9:00~16:00	見学学習	水が刻む風景 布鎌を巡る - 土手と水塚がある集落の 景観 - (小林駅~安食駅) 五衛門沼・塩田家・出津ス ーパー堤防・大鷲神社	松平 喜美代(同 上) 荒井信司(栄町教育委員会)

講座を終えて

昨年秋に学んだ「緑の回廊」の復習として春の緑を観察した。そこから水辺に視点を転じ、北、西印旛沼の周囲と布鎌の水辺景観をたどり、集落のなりたちや水塚、古墳時代の歴史から、急ピッチで進む高速鉄道工事の現在の水辺の姿も見る事ができた。北・西印旛沼の湖岸の完歩まで、あと西印旛沼東部北岸一区間を残すのみとなっており、参加者から講座続行(完歩)の強い要望が挙げられている。

## 舞台のお仕事体験隊

開設趣旨 複合施設である市民音楽ホールで、普段見ることのできない「舞台裏」を見学、し事業がどういった仕事の積重ねで完成されるのかを体験しながら学ぶ。

対象・人数 小学校4年生～成人まで 市民音楽ホール 34人

開催期間・会場 7月5日(土) 10:00～12:00 市民音楽ホール

学習目標 ふだん何気なく見ている催し物を多角的な視点から捉え、より楽しく鑑賞できるようにすることに主眼を置き、舞台の音響照明設備等を体験し、音楽ホールの仕事への理解を深め、文化施設にさらに親しみを感じられるようにする。

### 学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	指導者	会場
1	7月5日 (土)	見学体験学習	舞台のお仕事体験隊 音楽ホールバックステージ・ツアー 幕から音響反射板・幕セッティング、 照明・ピンスポットライト当て、スト リートオルガン演奏などを体験学習 した。	市民音楽ホール 職員	市民音楽ホール

### 講座を終えて

この講座は、鑑賞者が目にする以前の下準備にはどういったものがあり、どのような労苦があるのかを、実際に体感し文化事業の良き理解者となって欲しいと考えた事業である。

市民音楽ホールでの裏方の仕事を知り、文化活動に関心を持つ人たちが育って欲しいと考えている。

## 映像でたどる臼井千代田

開設趣旨 地域を学ぶ取り組みとして、臼井千代田地区の自然および2地区の歴史について、主に視聴覚ライブラリー所蔵の映像資料を上映し、参加者と観賞しながら学んで行く。

対象・人数 中学生～成人まで 38人

開催期間・会場 8月26日(火) 10:00～12:00 臼井公民館(集会室)

学習目標 映像資料を見てゆくなかで、その作品が制作された時代背景にも注目しながら、参加者同士で疑問や体験談を語り合い、多角的に地域情報を共有し単に懐かしい映像鑑賞に終わらない、地域への愛着を深める学びへ結びつけて行く。

## 学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	指導者	会場
1	8月26日 (火)	上映	映像でたどる臼井・千代田 「印旛沼の四季」H11 「ちょっと知りたいもっと知りたい 臼井地区」H11 「ちょっと知りたいもっと知りたい 千代田地区」H11 「歴史とロマンの里臼井八景」H13 「志津臼井の歴史を訪ねて」H4 「日蘭友好の街づくり」H01	職員	臼井公民館 (集会室)

### 講座を終えて

この講座は、鑑賞者が臼井、千代田の地域の自然や歴史に対してより多くの興味を持ち、地域の良き理解者となって欲しいという期待をこめた事業である。

作品上映と参加者の地域への興味に基づく意見交換を交え、映像資料が生かされる場を作っていくために、見ごたえのある映像資料の所在調査と紹介に努めて行きたい。



## 4 . 広報展示事業

### 広報事業

臼井公民館だより(第17号)

趣 旨 公民館事業、グループ活動等を紹介し、公民館活動の理解を深め積極的な参加を図る。

発行回数 1回(3月)

及び部数 1,000部

規格等 A4版4ページ、1色

配布方法 公民館・市民音楽ホール内のパンフレットコーナー等に配置。

### 展示室の貸出し

市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供している。グループの発表に使いやすい施設との評判をいただき、30前後の年間利用団体がある。

開室日・開室時間 月(第1・3・5)・火・木・日曜日 9時~17時

水・金・土曜日 9時~21時

休 室 日 第2・4月曜日、年末年始等

使用について 予約受け付けは6ヶ月前から

貸出期間は1団体、火曜日から日曜日までの6日間を基本とする。

使用料について 原則として無料。但し、個展・先生展・教室展示会等営利や売名行為的内容のあるものや、市外の方の使用については有料とする。

使用料 午前960円、午後1,280円、夜間1,260円

### ・20年度開催展示会一覧

行 事 名	主 催 者(ジャンル)	期 日	入場者数
翔08作品展	翔(油彩・水彩・水墨)	4月8日~13日	450人
第3回順水墨画展	順水墨画会	4月15日~20日	246人
刻字展と仏像彫刻展	佐倉刻字愛好会仏像彫刻の会	4月22日~27日	321人
観光写真コンテスト入賞作品展	佐倉市観光協会	4月30日~5月7日	133人
第7回作品発表会	シバ-人材センター写真同好会	5月20日~25日	239人
第15回臼井福祉会展示会	臼井ルネサンス会	5月27日~6月1日	157人
さつき展	佐倉臯月会	6月5日~8日	336人
杉の子グループ展	杉の子(絵画)	6月24日~6月29日	505人
第8回絵画展	アピロン(絵画)	7月1日~7月6日	431人
物故者を偲ぶ作品・遺品展	臼井文化懇話会	7月8日~7月13日	375人
その日その日の作品展	舟戸書会	7月18日~7月20日	95人
第28回葦の会絵画作品展	葦の会	7月22日~7月27日	455人
第2回水墨画グループ展	墨 jiyu-jinn	7月29日~8月3日	241人
佐倉平和のつどい	佐倉平和のつどい実行委	8月4日~8月10日	718人
チューリップまつり図画作文コンクール	公園緑地課	8月12日~15日	81人
しづ美術サークル小品展	しづ美術サークル	8月17日~22日	296人
第8回ヴァルール展	ヴァルール(絵画)	8月26日~31日	392人

第6回春秋展	春秋会(油彩)	9月2日~7日	589人
平成20年度市高連作品展	佐倉市高齢者クラブ連合会	9月10日~12日	397人
ワッサ-ルさわの会第4回作品展	ワッサ-ルさわの会(籐)	9月30日~10月5日	308人
第5回彩流展	彩流会(水彩)	10月7日~12日	336人
2008 自然と親しむ集い	佐倉自然同好会	10月14日~18日	214人
手工芸展、園芸展	市民文化祭実行委員会	10月22日~26日	470人
華道展	市民文化祭実行委員会	10月31日~11月2日	826人
風第2回展示会	風(水彩)	11月3日~8日	334人
パレットユーカリ絵画展	パレットユーカリ(絵画)	11月11日~16日	210人
第2回吐夢展	吐夢の会(絵画)	11月18日~23日	368人
草花の水彩画グループ展	花よう美の朝	11月25日~30日	303人
リブ・フォーエバー展	リブ・フォーエバー(自由芸術)	12月2日~7日	286人
しづ美術サークル小品展	しづ美術サークル	2月3日~8日	455人
第26回まきな会作品展	まきな会(木目込人形)	2月7日~22日	687人
四季スケッチ画会作品展	水彩四季スケッチ画会	2月24日~3月1日	427人
絵筆の会パレットメイト作品展	絵筆の会(絵画)	3月3日~7日	354人
コスモスの会刺しゅう展	コスモスの会(ワッサ刺繍)	3月10日~15日	557人
ワールサークル絵画展	ワールサークル(水彩画)	3月17日~22日	306人
第23回油絵展	白蝶会	3月24日~29日	439人

\* 入場者数は主催者届け出による

## 5 . 図 書 事 業

開室日・開室時間 火（第1火曜日を除く）～日曜日 9時～17時

休 室 日 月曜日・第1火曜日・年末年始・特別整理期間

貸 出 方 法 登録制で貸出券による。

1回につき1人10冊まで15日間貸出す。

蔵 書 数

- ・一般図書 26,692冊
- ・郷土資料 1,725冊
- （音楽関係図書を含む）
- ・その他 776冊
- ・児童図書 11,635冊
- ・楽 譜 4,112冊

蔵書冊数 44,940冊（平成21年3月末現在）

- ・雑 誌 22誌
- ・新 聞（朝刊） 7紙

### 月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	4,459	4,601	4,537	4,929	5,175	4,464	4,699	4,630	3,954	3,936	4,667	4,954	55,005
貸出冊数	11,040	11,730	11,337	12,640	13,341	11,246	11,802	11,680	10,363	10,153	11,719	12,597	139,648
開館日数	25	26	24	26	26	24	26	25	21	18	23	25	289

白井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書その他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営をめざす。

## 6 . 団体育成事業

---

臼井地区子ども会育成会連絡協議会(臼井子連)

臼井地区の単位子ども会の発展をねがい、関係機関団体との連携をはかりながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。

加盟団体数 15 団体

主な事業

- 4 / 18 (金) 総会・安全会説明会
- 8 / 23 (土) 臼井ふるさとにぎわい祭りに参加(模擬店出店・チャリティー寄付)
- 10 / 26 (日) 中央交流フェスティバルに参加(於:佐倉草ぶえの丘・ウィッチハット)
- 3 / 25 (水) 臼井子連子ども会員(小学6年生)バスハイキング  
八景島シーパラダイス見学(横浜市)

かたりべの会

昭和60年度の講座「民話を語る会」の受講生を中心に、昭和61年2月に発足。子どもにお話しを語ることを目的に、毎月1回、お話の練習として定例会を行っている。

定例会 第2水曜日 10時~12時 各人が覚えてきたお話を語り、後で感想を述べあうなどして、技術の向上を図る。月1回、会だよりを発行。

会 員 25名

活動記録 定例会 4 / 9・5 / 14・6 / 11・7 / 9・9 / 10・10 / 8  
11 / 12・12 / 10・1 / 14・2 / 4・3 / 11

毎月第3月曜日に、文庫「小さな図書館」にて、おはなし会を開催。